

## 外国語

現在、自分の住む国から地球の反対側に、どこでもわずか2日以内で行けます。また皆さんのポケットに入ったスマートフォンで、世界のどこにいる誰とでも、今すぐ話ができます。この交通、通信技術に恵まれた時代において、人間同士のコミュニケーション能力がより求められるようになり、外国語の勉強はもはやオプションではなく、義務になったのです。

僕はブルガリアから来ました。ブルガリアは東ヨーロッパの小さな国で、経済も強くありません。このような経済的に弱い小さな国の言語などわざわざ習う外国人はほとんどいないため、ブルガリア人は進んで外国語を勉強しなければなりません。しかも、ヨーロッパの場合は少し複雑です。ご存じの通り、EUに属する国だけでも24カ国語があります。ブルガリア人は貿易ビジネスのために、いろいろな外国語を勉強しなければなりません。僕は幼稚園から英語とドイツ語を学び、大学では日本語を専攻しました。このように、現在、僕は英語で世界中の約九億五千万人、ドイツ語で約二億千万人、更に日本語で約一億三千万人と交流できます。また、60カ国の地域と貿易ビジネスすることも夢ではなく、成功のチャンスが増えたと言えます。

外国語は貿易ビジネスの手段だけではなく、違う文化を理解するためにも、必用なのです。みなさんは、自分の国の文化を大切にしているでしょう。しかし、それも文明開化からずっと変わっていないものではなく、歴史上、絶えず外国から新鮮な血液を取り入れて、進化させてきたものです。現代は、文化が既に円熟し、夕暮れを迎えていると思う人がいますが、私は異なる文化をどんどん吸収できれば、どの国の文化でも僕と同じ、まだ若く、元気と希望に溢れているように思います。一番いい方法は若者の海外留学です。

僕は、現在日本に留学しています。この留学生生活で僕が好きなのは、便利さで代表されている日本文化です。コンビニで24時間いつでも買い物ができるし、更に

そこで公共料金こうきょうりょうきんの支払いや、郵便物ゆうびんぶつの送り受けおく うなどもできます。外のどで喉が渴かわいたら、どこでも自動販売機じどうはんばいきがすぐ見付き、いろいろな種類の飲み物が買えます。新幹線しんかんせんをはじめ、交通機関こうつうきかんはいつも定刻で快適です。（例えば、福山市から東京までは4時間程度ていどしかかからず、僕はこれまで朝起きて、新幹線で東京へ行って友達とコーヒーを飲んで、晩御飯前ばんごはんまえに福山市に戻る経験けいけんを何回なんかいかしました。）この便利さを、どうやって形をうまくか変えて、ブルガリアに植え付けようかと、考えるだけでわくわくします。

今の時代でもまだ外国語を勉強することがオプションだと考える人がいます。しかし強い経済きぎを築き、文化はつたつを発達させるためには、外国語の勉強は実は義務なのです。自分の、我が国わくにの、ひいては人類じんるいの未来みらいのために、一緒に外国語を勉強しましょう。どうもご清聴せいちょうありがとうございました。